

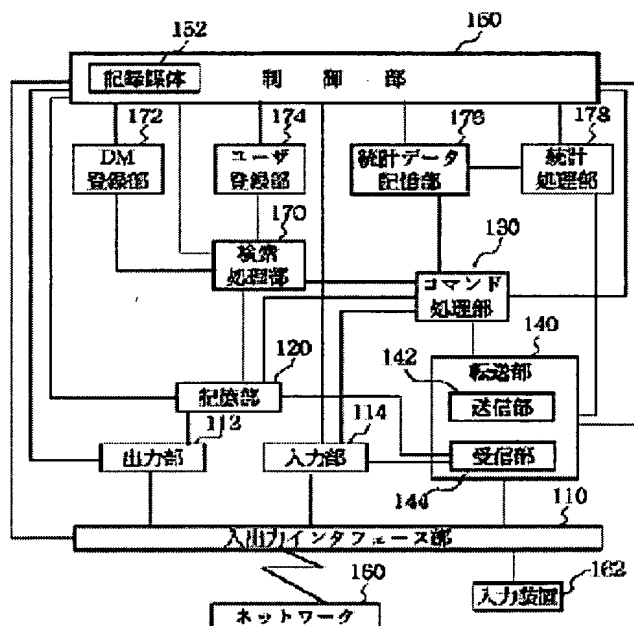
DIRECT MAIL COMMUNICATION MANAGEMENT DEVICE AND ITS METHOD

Patent number: JP10307772
Publication date: 1998-11-17
Inventor: TAKAHASHI IKUYA; YAMAGAMI TOSHIHIKO
Applicant: NIPPON TELEGR & TELEPH CORP <NTT>
Classification:
 - international: G06F13/00; H04L12/54; H04L12/58
 - european:
Application number: JP19970119737 19970509
Priority number(s):

Abstract of JP10307772

PROBLEM TO BE SOLVED: To exclude a direct mail(DM) unnecessary for a user by enabling a DM originator to provide a suitable DM to each user by using DM data and user information stored in a device.

SOLUTION: When the device is a DM communication management device using electronic mails(EMs), a DM registration part 172 for registering DM data, a user registration part 174 for registering user information to be DM sending destinations, a retrieving processing part 170 for retrieving the DM data information registered in the DM registration part 172 and the attributes of users registered in the user registration part 174, a statistic data storing part 176 for storing the attribute data of users to which DMs are sent, and a statistic data processing part 178 for processing the attribute data stored in the storing part 176 and preparing statistic data are added to the EM device.



Data supplied from the esp@cenet database - Worldwide

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-307772

(43)公開日 平成10年(1998)11月17日

(51)Int.Cl.⁸

識別記号

F I

G 0 6 F 13/00

3 5 1

G 0 6 F 13/00

3 5 1 G

H 0 4 L 12/54

H 0 4 L 11/20

1 0 1 B

12/58

審査請求 未請求 請求項の数5 O L (全 9 頁)

(21)出願番号 特願平9-119737

(22)出願日 平成9年(1997)5月9日

(71)出願人 000004226

日本電信電話株式会社

東京都新宿区西新宿三丁目19番2号

(72)発明者 高橋 郁也

東京都新宿区西新宿三丁目19番2号 日本
電信電話株式会社内

(72)発明者 山上 俊彦

東京都新宿区西新宿三丁目19番2号 日本
電信電話株式会社内

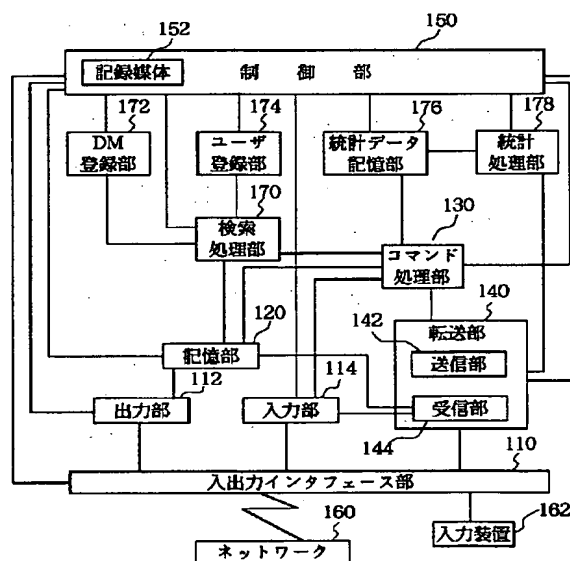
(74)代理人 弁理士 若林 忠

(54)【発明の名称】 ダイレクトメール通信管理装置と通信管理方法

(57)【要約】

【課題】 装置に蓄積されたDMデータおよびユーザ情報を用いてDM発信者は適切なユーザにDMを提供でき、ユーザにとっては不必要なDMが排除されるダイレクトメール通信管理装置と通信管理方法を提供する。

【解決手段】 電子メールを用いたダイレクトメール通信の管理装置であって、電子メール装置に、ダイレクトメールデータを登録するDM登録部172と、ダイレクトメール送付先のユーザ情報を登録するユーザ登録部174と、DM登録部に登録されたダイレクトメールデータの情報とユーザ登録部に登録されたユーザの属性とを検索する検索処理部170と、ダイレクトメールを送付したユーザの属性データを記憶する統計データ記憶部176と、統計データ記憶部に記憶された属性データを処理して統計データを作成する統計データ処理部178とを付加して構成されている。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 電子メールを用いたダイレクトメール通信の管理装置であって、

外部より電子メールを受信する受信部と、受信した電子メールを蓄積する蓄積部と、蓄積された前記電子メールの読み出し処理を行う読み出し部と、外部に対する送信処理を行う送信部と、構成機器の制御を行う制御部とを有する電子メール装置に、

ダイレクトメールデータを登録するDM登録部と、

ダイレクトメール送付先のユーザ情報を登録するユーザ登録部と、

前記DM登録部に登録されたダイレクトメールデータの情報と前記ユーザ登録部に登録されたユーザの属性とを検索する検索処理部と、

ダイレクトメールを送付したユーザの属性データを記憶する統計データ記憶部と、

前記統計データ記憶部に記憶された属性データを処理して統計データを作成する統計データ処理部と、を付加して構成されたことを特徴とするダイレクトメール通信管理装置。

【請求項2】 電子メールを用いたダイレクトメール通信管理装置によるダイレクトメール通信の管理方法であって、

ダイレクトメール発信者からあらかじめ送信された、発信を希望するダイレクトメールと該ダイレクトメールの属性とを含むダイレクトメールデータを登録し、

ダイレクトメールの受信を希望するユーザからあらかじめ送信された、該ユーザの属性を含む所定のユーザ情報を登録し、

ダイレクトメール発信者から送信された、ダイレクトメール発信のコマンドの内容を解析し、

前記コマンドで指定されたダイレクトメールと指定された属性のユーザデータとを検索し、

検索された前記ダイレクトメールを、検索された前記ユーザデータのユーザに電子メールとして送信する、ことを特徴とするダイレクトメール通信管理方法。

【請求項3】 前記ダイレクトメールが送信された前記ユーザのユーザデータから所定の属性データを記憶し、記憶された属性データを処理して統計データを作成し、作成された統計データを前記ダイレクトメール発信者に送信する、請求項2に記載のダイレクトメール通信管理方法。

【請求項4】 電子メールを用いたダイレクトメール通信管理装置においてダイレクトメールをユーザに送信するための制御プログラムを記録した記録媒体であって、ダイレクトメール発信者から送信され受信部で受信された発信を希望するダイレクトメールと該ダイレクトメールの属性とを含むダイレクトメールデータをDM登録部に登録する手順と、

ダイレクトメールの受信を希望するユーザから送信され

受信部で受信された該ユーザの属性を含む所定のユーザ情報をユーザ登録部に登録する手順と、

ダイレクトメール発信者から送信され受信部で受信されたダイレクトメール発信のコマンドを読み出し部に転送する手順と、

前記読み出し部によって該コマンドの内容を解析する手順と、

前記コマンドで指定されたダイレクトメールを検索処理部によって前記DM登録部から検索する手順と、

前記コマンドで指定された属性のユーザデータを前記検索処理部によって前記ユーザ登録部から検索する手順と、

検索された前記ダイレクトメールを、送信部を通じて検索された前記ユーザデータのユーザに電子メールとして送信する手順と、を実行させるためのプログラムを記録した機械読み取り可能な記録媒体。

【請求項5】 さらに、前記ダイレクトメールが送信された前記ユーザのユーザデータから所定の属性データを統計データ記憶部に記憶させる手順と、

統計データ処理部で前記統計データ記憶部に記憶された属性データを処理して統計データを作成させる手順と、

作成された統計データを前記送信部を通じて前記ダイレクトメール発信者に送信する手順と、を実行させるためのプログラムを記録した請求項4に記載の機械読み取り可能な記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】 本発明は商用目的で使用する通信ネットワークに関し、特に通信ネットワークを介し電子メールを用いたダイレクトメール通信の分野に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来用いられていたこの種の通信ネットワークを介したダイレクトメール通信の通信管理装置は、一般に図4にて示す電子メール装置を利用した構成のものが採用されていた。即ち図4は従来例のダイレクトメール通信管理装置のブロック構成図であり、図中符号410は入出力インタフェース部、412は出力部、414は入力部、420は記憶部、430はコマンド処理部、440は転送部、442は送信部、444は受信部、450は制御部、460はネットワーク、462は入力装置である。以下ダイレクトメールは文中DMと略する。

【0003】 従来装置によりDMをDM発信者が発信するには、DM発信者はネットワーク460を用いて電子メールとして、または入力装置462を用いてDMデータを入出力インタフェース部410に入力し、入出力インタフェース部410に入力されたDMデータは制御部450の指示により入力部414に読み込まれる。入力部414に読み込まれたDMデータは制御部450の指

示により記憶部420に転送される。記憶部420は制御部450の指示により転送されたデータを所定の位置に記憶する。

【0004】また、DM発信者はDMデータを送付しようとするユーザのアドレスをネットワーク460を用いて電子メールとして、または入力装置462を用いて入出力インタフェース部410に入力し、入出力インタフェース部410に入力されたアドレスは制御部450の指示により入力部414に読み込まれる。入力部414に読み込まれたアドレスは制御部450の指示により記憶部420に転送される。記憶部420は制御部450の指示により転送されたデータを所定の位置に記憶する。

【0005】さらに、DM発信者はDM発信のコマンドをネットワーク460を用いて電子メールで、または入力装置462を用いて入出力インタフェース部410に入力し、入出力インタフェース部410に入力されたDM発信のコマンドは制御部450の指示により入力部414に読み込まれる。入力部414に読み込まれたDM発信のコマンドは制御部450の指示によりコマンド処理部に送信される。コマンド処理部430は制御部450の指示によりDM発信のコマンドを解析し、当該処理を行うために必要なDMデータおよびアドレスのデータの検索と出力とを記憶部420に指示する。記憶部420は制御部450の指示によりDM発信を行うために必要なDMデータおよびアドレスのデータを送信部442に送信し、送信部442は制御部450の指示により入出力インタフェース部410を介してネットワーク460を経由してDMデータを指定されたアドレスに電子メールとして送信する。

【0006】次にユーザ側によるDMなどの情報の受信について説明する。他の電子メール装置等からネットワーク460を経由して入出力インタフェース部410に送信されてきたDM付きメールは、制御部450の指示により受信部444で受信される。受信されたデータは制御部450の指示により記憶部420に転送される。記憶部420は当該データを制御部450の指示により所定の位置に記憶する。ユーザからのコマンドがネットワーク460を経由して入出力インタフェース部410に送信されてきた場合は、当該コマンドは制御部450の指示により入力部414で受信される。入力部414は制御部450の指示によりコマンドをコマンド処理部430に送信する。コマンド処理部430は制御部450の指示によりコマンドを解析し、当該コマンドに対応したデータの検索と出力とを記憶部420に指示する。記憶部420は制御部450の指示によりコマンドに対応したデータを出力部412に送信し、出力部412は制御部450の指示によりコマンドに対応したデータを入出力インタフェース部410を介して電子メールでコマンドを発信したユーザの表示装置あるいはネットワー

ク460上に連結された表示装置などに表示させる。

【0007】

【発明が解決しようとする課題】このように従来の電子メール装置を用いたダイレクトメール通信管理装置によりネットワーク通信システムで電子メールとしてDMを送信しようとするDM発信者は、ユーザのメールアドレスを独自に調査・入手・管理し、自らDMを送信しなくてはならないという問題点があった。

【0008】また、入手したユーザの属性を知るためには直接ユーザに尋ねるしか方法が無かく、さらに入手したユーザ属性の統計処理も自ら蓄積・分析する必要があった。

【0009】一方でユーザは、不必要な情報を一方的に送られてくるという問題があり、このように送信者および受信者の双方にとって問題点があった。

【0010】本発明の目的は、装置に蓄積されたDMデータおよびユーザ情報を用いてDM発信者は適切なユーザにDMを提供でき、ユーザにとっては不必要なDMが排除されるダイレクトメール通信管理装置と通信管理方法を提供することにある。

【0011】

【課題を解決するための手段】本発明のダイレクトメール通信管理装置は、電子メールを用いたダイレクトメール通信の管理装置であって、外部より電子メールを受信する受信部と、受信した電子メールを蓄積する蓄積部と、蓄積された電子メールの読み出し処理を行う読み出し部と、外部に対する送信処理を行う送信部と、構成機器の制御を行う制御部とを有する電子メール装置に、ダイレクトメールデータを登録するDM登録部と、ダイレクトメール送付先のユーザ情報を登録するユーザ登録部と、DM登録部に登録されたダイレクトメールデータの情報とユーザ登録部に登録されたユーザの属性とを検索する検索処理部と、ダイレクトメールを送付したユーザの属性データを記憶する統計データ記憶部と、統計データ記憶部に記憶された属性データを処理して統計データを作成する統計データ処理部とを付加して構成されている。

【0012】本発明のダイレクトメール通信管理方法は、電子メールを用いたダイレクトメール通信管理装置によるダイレクトメール通信の管理方法であって、ダイレクトメール発信者からあらかじめ送信された、発信を希望するダイレクトメールと該ダイレクトメールの属性とを含むダイレクトメールデータを登録し、ダイレクトメールの受信を希望するユーザからあらかじめ送信された、該ユーザの属性を含む所定のユーザ情報を登録しておく。ダイレクトメール発信者からダイレクトメール発信のコマンドが送信されると、ダイレクトメール発信のコマンドの内容を解析し、コマンドで指定されたダイレクトメールと指定された属性のユーザデータとを検索し、検索されたダイレクトメールを、検索されたユーザ

データのユーザに電子メールとして送信する。

【0013】さらに、ダイレクトメールが送信されたユーザのユーザデータから所定の属性データを記憶し、記憶された属性データを処理して統計データを作成し、作成された統計データをダイレクトメール発信者に送信することが好ましい。

【0014】ある分野のDMをユーザーに電子メールで発信したいDM発信者は希望する分野を指定したDM発信のコマンドを発行するだけで、当該DMの対象とする分野に対応するユーザや受信を希望するユーザに対してDMが送信されるため、DM発信者はユーザ情報を独自に入手することなく効率的にDMの発信が可能になる。また、DM発信者はDMを受け取ったユーザに関する統計的な情報を入手することができる。ユーザはユーザ登録部に希望するDMの分野を登録することにより不必要なDMを受け取ることがなくなる。

【0015】

【発明の実施の形態】次に、本発明の実施の形態について図面を参照して説明する。図1は本発明の実施の形態のダイレクトメール通信管理装置のブロック構成図であり、図中符号110は入出力インタフェース部、112は出力部、114は入力部、120は記憶部、130は読み出し部でもあるコマンド処理部、140は転送部、142は送信部、144は受信部、150は制御部、152は制御プログラムを記録した記録媒体、160はネットワーク、162は入力装置、170は検索処理部、172はDM登録部、174はユーザ登録部、176は統計データ記憶部、178は統計処理部である。図2は本発明の実施の形態のダイレクトメール通信管理装置を用いてDM発信者がDMを発信する手順を示すフローチャートであり、図3は本発明の実施の形態のダイレクトメール通信管理装置を用いてユーザがDMなどの情報を受信する手順を示すフローチャートである。図中S201～S210およびS301～S311は各ステップを示す。

【0016】制御プログラムは記録媒体152から制御部150のデータ処理装置（不図示）に読み込まれデータ処理装置の動作を制御する。制御部150は制御プログラムの制御により以下の処理を実行する。

【0017】本発明においてはDMの受信を希望するユーザと、DMを送信する会社との対応関係を検索することで効率的なDM発信を可能としている。DMの受信を希望する者は、あらかじめ入手したいDMの分野を含むユーザデータをユーザ登録部174に登録しておく。また、DMの発信を希望するDM発信者はあらかじめDM登録部172に提供するDMの分野の情報とDM本体とを記憶させておく。

【0018】まず図1と図2を参照して本発明のダイレクトメール通信管理装置を用いてDM発信者がDMを発信する手順を説明する。あらかじめDM登録部172に

DMの分野とDM本体を登録してあるDM発信者が、DM発信のコマンドを入力装置162から直接、またはネットワーク160を経由して装置の入出力インタフェース部110に入力して動作を開始させると（S201）、入出力インタフェース部110に入力されたコマンドは、まず制御部150の指示により入力部114に読み込まれる。入力部114に入力されたコマンドは制御部150の指示によりコマンド処理部130に送信されコマンドは受け付けられる（S202）。

【0019】コマンド処理部130は制御部150の指示により受け付けたコマンドを解析し、DM発信処理を行うために必要なDM本体のデータの検索を検索処理部170に指示する。検索処理部170は制御部150の指示により検索キーを生成し、DM登録部172から対応するDM本体の情報を読みだし、検索処理部170を経由して記憶部120に送信する。記憶部120は制御部150の指示により検索されたDM本体の情報を所定の位置に記憶する（S203）。

【0020】また、コマンド処理部130は制御部150の指示により解析したコマンドから、DM発信処理を行うために必要なユーザのデータの検索を検索処理部170に指示する。検索処理部170は制御部150の指示によりユーザ登録部174から該当する発信先のユーザデータを検索し検索処理部700を経由して記憶部120に送信し、記憶部120は制御部150の指示により送信されたユーザデータを所定の位置に記憶する（S204）。

【0021】すべてのユーザデータが検索された後、コマンド処理部130は制御部150の指示により記憶部120からDM本体のデータとユーザデータとを読み出し、発信処理をするためのデータとともに転送部140の送信部142に送信する。送信部142は制御部150の指示により、送信されてきたDM本体のデータを入出力インタフェース110を介してネットワーク160を経由して送信されてきたユーザデータのユーザに電子メールで送信する（S205）。

【0022】同時にコマンド処理部130は制御部150の指示により記憶部120に記憶されたユーザデータからDM本体の送信先ユーザの年代、性別、居住地域等の統計処理を行うために必要なユーザ属性データを読み込み、統計用のデータとして統計データ記憶部176に転送する。統計データ記憶部176は制御部150の指示により転送されたデータを記憶して蓄積する（S206）。

【0023】個々のユーザへのDM本体の発信処理と、ユーザ属性データの転送が完了すると、記憶部120は制御部150の指示により蓄積されたユーザデータから送信済みの登録ユーザを削除する。コマンド処理部130は記憶部120に蓄積されたユーザデータの登録ユーザが0になるまでDM本体のユーザへの発信処理とユー

ザ属性データの統計データ記憶部176への転送を繰り返す(S207-No)。

【0024】DM本体が記憶部120の蓄積ユーザデータの全ての登録ユーザに送信されたら(S207-Yes)、制御部150の指示により統計処理部178は統計データ記憶部176から統計用のデータをすべて読み込み、必要な統計データを計算し(S208)、作成された統計データを、DM発信者に統計データを送るための送信処理用のデータと共に送信部142に送信する。送信部142は制御部150の指示により、受信した統計データを入出力インタフェース110を介してネットワーク160を経由してDM発信者に送信して(S209)、動作を終了する(S210)。

【0025】次にユーザ側からのDMなどの情報の受信について説明する。他の電子メール装置等からネットワーク160を経由してDM付きメールが入出力インタフェース部110に送信されてくると、受信部144を経由して記憶部に蓄積される。ユーザからネットワーク160を経由して通信が送信されてくると受信動作が開始され(S301)、通信内容が受信され(S302)、受信された通信がデータの場合は(S303-No)、制御部150の指示により受信部144で受信される(S304)。受信されたデータは制御部150の指示により記憶部120に転送される。記憶部120は当該データを制御部150の指示により所定の位置に記憶する(S305)。

【0026】ユーザからの通信がコマンドの場合は(S303-Yes)、当該コマンドは制御部150の指示により入力部114で受信される。電子メールにコマンドが含まれている場合は、制御部150の指示により受信部144から入力部114に転送される(S306)。入力部114は制御部150の指示によりコマンドをコマンド処理部130に送信する(S307)。コマンド処理部130は制御部150の指示によりコマンドを解析し、当該コマンドに対応したデータの出力を記憶部120に指示する(S308)。記憶部120は制御部150の指示によりコマンドに対応したデータを検索して出力部112に送信し(S309)、出力部112は制御部150の指示によりコマンドに対応したデータを入出力インタフェース部110を介して電子メールでコマンドを発信したユーザの表示装置あるいはネットワーク160上に連結された表示装置などに表示させて(S310)、受信動作は終了する(S311)。

【0027】DM発信者が登録したDM本体も属性のデータを付して記憶部120に記憶しておくことによって自動的に希望するユーザに発信される。

【0028】以上の説明により、本発明が記録媒体に記録されたプログラムなどのソフトウェアによっても実現できることは容易に類推できる。

【0029】ユーザ登録部に登録されるユーザ情報は、

例えば住所、年齢、性別、職業、趣味、希望DM分野等が考えられ、ユーザがネットワークを通じて登録した情報を原則とするが、他に本管理装置の運営者が独自に新規のユーザについての情報を登録することも可能である。ユーザ情報はDM発信者および他の全てのユーザから隠蔽され、DM発信者にはあくまでも統計データのみが渡される。これによりユーザのプライバシーの保護が得られ、DM発信者は付加価値の高いユーザ属性の統計データを入手することが可能となる。

【0030】本発明において登録内容に、ユーザの属性として、特定分野あるいは特定業者のDMを拒絶する、あるいは歓迎することを設定することも可能である。このような属性を設定することによつて、DM受信者であるユーザは送付されるDMの内容の選択が可能となる。当該属性は、あらかじめ、あるいは動作の途中で、制御部150の指示により、ユーザ登録部174へ設定することによってそれぞれの属性として記憶される。検索処理部170は制御部150の指示により、当該属性を考慮して、DMの発信先のユーザの検索を行う。

【0031】

【発明の効果】以上説明したように、本発明によりユーザは不必要なDMが送られてくる煩わしさから開放され、欲しい情報を選択的に入手することが可能となり、DM発信者は独自にDM発信信用の名簿を入手・管理せずともDMの発信が可能となり、不必要なDMを送る手間を省くことができるという効果がある。

【0032】さらにDM発信者はDMを受け取ったユーザに関する統計データ(例えば年代、居住地域、性別等)を入手することが可能となる。このようにしてDMの発信者・受信者双方の従来の問題点が解決される。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施の形態のダイレクトメール通信管理装置のブロック構成図である。

【図2】本発明の実施の形態のダイレクトメール通信管理装置を用いてDM発信者がDMを発信する手順を示すフローチャートである。

【図3】本発明の実施の形態のダイレクトメール通信管理装置を用いてユーザがDMなどの情報を受信する手順を示すフローチャートである。

【図4】従来例のダイレクトメール通信管理装置のブロック構成図である。

【符号の説明】

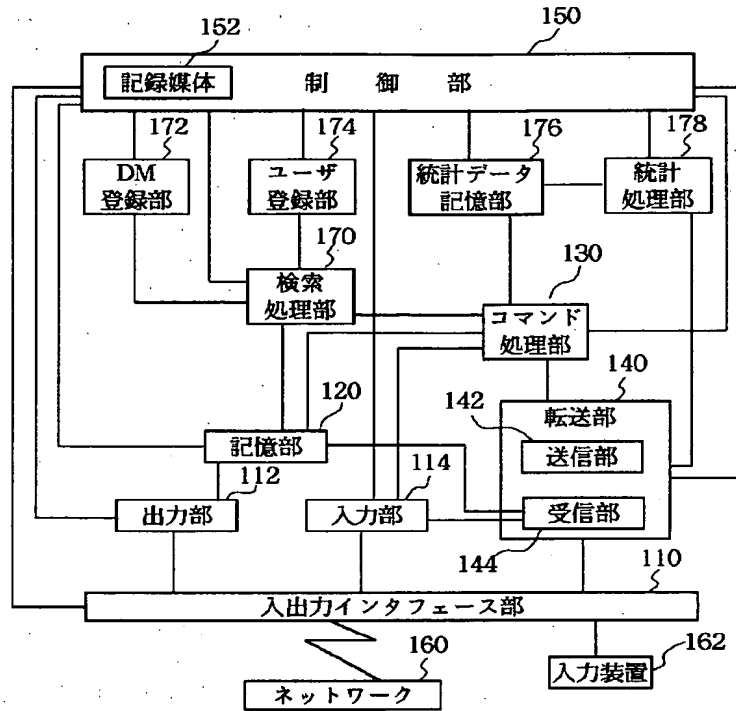
110、410	入出力インタフェース部
112、412	出力部
114、414	入力部
120、420	記憶部
130、430	コマンド処理部
140、440	転送部
142、442	送信部
144、444	受信部

150、450 制御部
 152 記録媒体
 160、460 ネットワーク
 162、462 入力装置
 170 検索処理部
 172 DM登録部

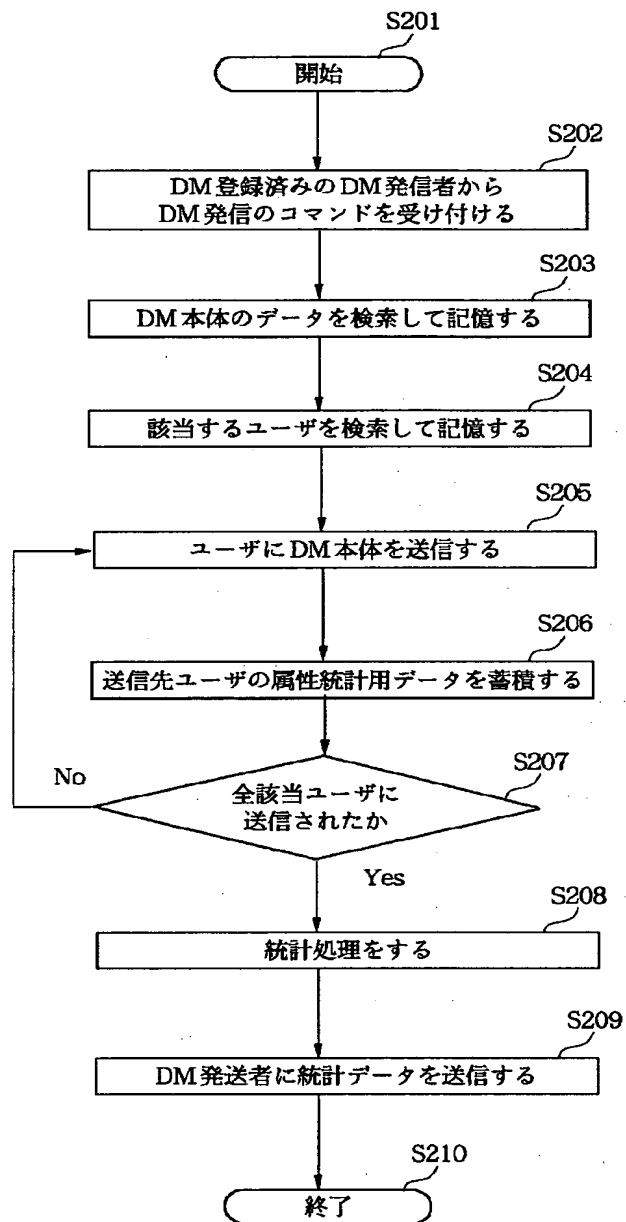
* 174 ユーザ登録部
 176 統計データ記憶部
 178 統計処理部
 S201~S210、S301~S311 各ステップ

*

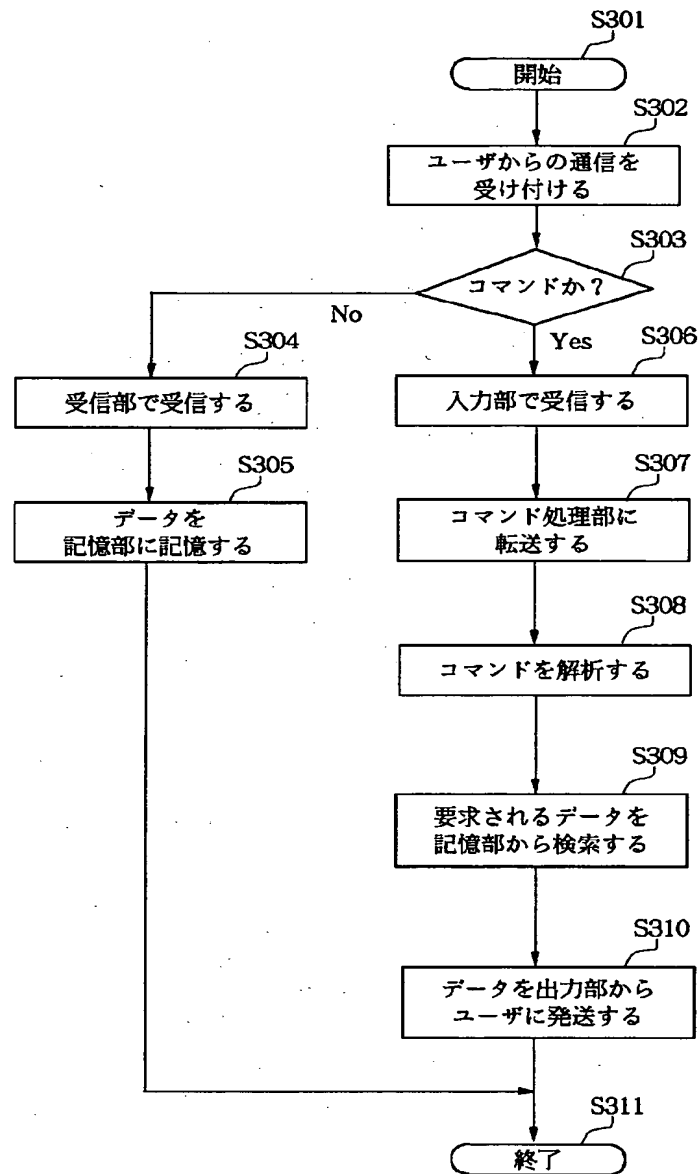
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

